学校教育目標　生き生きと学び　力いっぱい活動し　だれとでも仲良く

学校だより　10 月号

市田っ子

令和元年9月27日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ いっぱいの学校

「力いっぱい」で取り組む市田っ子
～運動会で実践し、ラグビーＷカップ観戦を肌で感じて～

市田小学校長　山田　明

学校の周りの田んぼでは稲刈りがすすみ、実りの秋本番となりました。

先日の運動会は午前中のみの開催となり、大里音頭と八木節鑑賞ができなくなり、地域婦人会ならびに楽友会（手島地区八木節保存会）の方々には、御迷惑をおかけしてしまい、申し訳ございませんでした。

さて、今年の運動会では、開会行事の校長あいさつでも話したとおり、子供たちには「力いっぱい」を求めてきました。赤組、白組の応援団の子供たちは、夏休み前から「力いっぱい」練習を重ねてきました。運動会当日は、全校児童一人一人が「力いっぱい」演技し、係の役割を果たし、校庭のいたる所できらきら光輝いていました。

子供たちには、運動会で「力いっぱい」活躍する素晴らしさを体験できたことと思います。この体験をこれからの授業など学校生活全般や日常の生活で生かして欲しいと願っています。

また、この 10 月号の学校だよりには間に合いませんでしたが、９月２９日（日）に熊谷ラグビー場にてラグビーワールドカップ 2019 の応援観戦が行われます。自国のの名誉とチームの勝利を信じて「力いっぱい」のプレーを間近で観戦し、子供たちは「力いっぱい」を体感します。このことは、一生に一度の何事にも代えがたいレガシーとなることでしょう。

これからも、市田っ子が様々な場面で「力いっぱい」活動し、キラキラ光り輝くには、保護者・地域の皆様からの励ましが欠かせません。今後とも本校教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

生活目標について

10月学校生活目標

ていねいな言葉づかいを身につけよう。

・「ふわふわ言葉」を進んで使おう。

・「～です（か）。」「～ます（か）。」をはっきり言おう。

１０月は「言葉づかい」について考えます。

大きな行事である運動会も終わり、これからは、子供たちも今まで以上に落ち着いた学校生活を過ごすことができます。ゆとりができた分、うっかり乱れた言葉づかいになってしまったり、それがトラブルの原因になってしまったり…。

私たちは、普段、言葉をつかい、気持ちを伝え合い、意思疎通を図っています。そして、言葉は相手の心を解きほぐす力がある一方、相手の心をズタズタに傷つけてしまう力ももっています。これは親子であっても友達であっても同じです。

私たちはどのような言葉を選び、相手に伝えているでしょうか。言葉は人との関係を築き、雰囲気を醸しだす大切なものです。「一つの言葉」に込められた意味の重さを考えて話し、様々なことを言葉から感じ取ることのできる感性の豊かな市田っ子を育てていきたいと思います。